



県議会本会議で討論する丸山慎一県議

丸山 慎一

千葉県議会議員(船橋市)

大きな経済力があるのに苦しい日々を送り、平和を願っているのに戦争の足音が近づいて来る。この現実には住民に背を向けたままの政治が作りだしているものです。だから必ず変えられま



危険な県道の改善で地域のみなさんと土木事務所に要請する丸山慎一県議(正面左から3人目)。

プロフィール
1955年生まれ。東京都立川市出身。1980年千葉大学理学部卒業。民主青年同盟中部地区委員長、志位和夫衆議院議員秘書などを経て、1997年3月、定数1の県議補欠選挙で初当選。現在5期目。健康福祉常任委員。

丸山慎一のホームページ
<http://maru.on.coocan.jp/>



日本共産党

ちば民報 発行●ちば民報社
千葉市中央区新千葉3-16-15 ☎043-241-4251
日本共産党千葉県委員会の政策を紹介します。
2015年2・3月号外

総選挙躍進
その力をいかし

消費税10%

格差の拡大

原発再稼働

憲法改悪

最大与党・自民党が議席の過半数をしめ、それを民主党や公明党が支える事実上の「オール与党県政」です。巨大開発には熱心ですが、庶民の暮らしを支える一番大事な仕事は後回し。日本共産党は、総選挙の躍進を力に、安倍暴走ストップ、県民の願いにこたえる県政実現へ全力をつくします。

安倍政権打倒の国民的運動ひろげます

庶民いじめの「自民党千葉県政」と、それを支える民主、公明に立ち向かう

日本共産党を伸ばしてください

暮らしを守る
提案

福祉

安上がり優先の県障害者施設で虐待暴行死 福祉の心と十分な人手を現場に

県立障害者施設「袖ヶ浦福祉センター」職員による虐待暴行死亡事件は、絶対に繰り返してはなりません。自治体リストラ(行革)で正規職員が非正規に置き換えられ、技術や専門知識の低下を招いていました。

県営住宅強制退去の日に「母娘無理心中事件」 家賃減免制度の周知改善を

県営住宅(銚子市)での悲痛な事件は、県が入居者に家賃減免制度を申請するよう促していれば、防ぐことができました。家賃減免対象のうち、実際に利用している世帯は2割程度にすぎません。

県民の生存権を守る

日本共産党の提案

- 消費税10%・社会保障制度解体を許さない。
- 介護サービス後退や負担増をやめさせ、特養ホーム大幅増設。
- 保育所入所待機児解消。
- 福祉現場に必要な正規職員確保と研修の充実。

医療

窓口の支払は大変 国保一世帯1万円引き下げ、 高校3年まで完全無料に

高すぎる国保料(税)。104万世帯の4分の1が払いきれず、そのうちの4割は正規の保険証がありません。県内54市町村のうち43自治体が中学3年以上まで入院・通院を助成していますが、県の通院助成は小学3年のままです。

千葉県の医師と看護師の人数(人口比)は全国45番目。県の看護師養成定員は3分の1に減り、県修学支援金の貸付月額も全国最低のままです。

命と健康を守る

日本共産党の提案

- 高齢者の窓口負担増をやめさせる。
- 市町村とも協力し、県の責任で入・通院とも高校3年まで窓口完全無料化。
- 重度心身障害者(児)窓口完全無料化。
- 県の看護師養成定員を大幅に増やし、修学資金の金額、貸付枠を拡充。
- 地域医療を疲弊させた県立病院再編計画は廃止し、県立病院を充実。

教育

進めぬ少人数学級、重い私学の学費 正規教員増、返済不要の 奨学金拡充を

県は、国に合わせて少人数学級の拡大を中止。県独自に先生を採用して前進させている他県と大違いです。毎年、ほんらい正規採用すべき教員の半数近くが1年間の非常勤です。

私学の授業料と一緒に納める施設整備費が払えず、進級・進学を断念したり、卒業式で卒業証書がもらえない、辛い実態があります。



どの子にも学びを保障する

日本共産党の提案

- 正規教員を増やし、30人以下の少人数学級。
- いじめ根絶へ、先生が一人ひとりの子どもと丁寧に向き合える学校に。
- 県立高校統廃合をやめ、特別支援学校増設を。
- 私学授業料減免を拡げ、施設整備費を含む学費全体を軽減。
- 給付型奨学金制度の拡充。

地域経済

大企業1社に最高70億円・商店街には6万3千円 県の住宅リフォーム助成や 自然エネルギーで 地域経済を元気に

木更津・君津にある「かずさアカデミアパーク」の企業用地(149h)は、半分近くが空地のままです。50億円もの県補助金で茂原市に誘致したパナソニック液晶ディスプレイ(旧IPS社)は、わずか7年余りで撤退し、多くの人が職を失いました。



地域振興・雇用を守る

日本共産党の提案

- ブラック企業規制、人間らしく働けるルールを。
- 住宅リフォーム県助成制度、公契約条例制定。
- 中小企業振興条例を活かし、中小企業・商店街の予算増額。
- 太陽光・小水力・バイオマス発電などへの支援拡充。

財政力4位の千葉県

巨大開発のむだ使いをやめれば福祉の財源ができます

住民の願いは後回し、 企業に選ばれる千葉県づくり

「新 輝け!ちば元気プラン」(千葉県総合計画)では、巨大・幹線道路の整備、企業誘致などが強調されています。「千葉県行政改革・財政健全化計画」(2013年10月)の根本も「企業に選ばれる千葉県づくり」との発想です。もっぱら県内財界(千葉県経営者協会)の「要望」に沿うものとなっています。

止まらない ゼネコンだけが儲かる大型公共事業

「圏央道」「外環道」「北千葉道路」などの巨大道路建設に投入した税金は、3000億円以上。その9割は借金で、県の借金残高は史上最高の3兆円超、県民一人当たり50万円を突破しました。総事業費2000億円の「つくばエクスプレス」沿線開発も行き詰まり、利水でも洪水対策でも必要のないハツ場ダム建設の県の負担は760億円。その一方、橋やトンネルの老朽化対策、生活道路の整備は遅れたままです。

県全体の民生費	46位
社会福祉費	47位
老人福祉費	46位
児童福祉費	45位

全国8つの工業県で導入している
大企業への法人事業税超過課税を実施すれば
122億円の税収増(2014年度)